

(1) 確認事項

- ① 競技大会は、都道府県知事の感染防止方針に準拠して開催する。
- ② 参加者数は、都道府県知事の方針のもと上限人数を定める。
- ③ ダブルスは感染対策を十分に行った上で実施する。
- ④ 競技大会は入場制限を行う。登録選手の入場を認め、無観客試合とする。
- ⑤ 以下の事項に該当する者には参加の見合わせを求める。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に新型コロナウイルス感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ⑥ 参加者及び大会関係者（選手・顧問・外部指導者・審判）は以下の項目を遵守する。
 - ・マスクを持参する（参加受付時やスポーツを行っていない時、会話をする際にはマスクを着用する）
 - ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する
 - ・他の参加者、大会関係者との距離（できるだけ 2 m 以上）を確保する（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
 - ・大会中に大きな声で会話、応援等をしないこと
 - ・感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
 - ・大会終了後 1 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する
 - ・健康チェックシートを記入し、大会前後各 1 週間の健康観察を行うこと。
 - ・当日の体温は 37.0 度未満とする。ただし、平熱が高い者について、参加の可否は各学校の校長が判断する。

(2) 当日の参加受付時の留意事項

- ① 受付には、手指消毒剤を設置する。
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しない。（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限するもある）
- ③ 人と人が対面する場所は、三つの密を避ける。
- ④ 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行う。
- ⑤ 受付を行うスタッフは、マスクを着用する。
- ⑥ 参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求める。
 - ・大会当日の体温
 - ・大会前 1 週間における以下の事項の有無
 - 平熱を超える発熱（37 度 0 分以上）
 - 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）

- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方が発生
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航
または当該在住者との濃厚接触

(3) 卓球競技大会参加者への対応

① 体調の確認

(2) ⑥に掲載されている事項を記載した書面を提出する。

② マスクなどを準備する。

③ 参加者がマスクを準備しているか確認する。

なお、競技中のマスクの着用は不要であるが、参加の受付、着替え、表彰式等の競技外の時間、特に会話する時には、マスクの着用を求める。

(4) 卓球競技大会主催者が準備すべき事項

① 会場入り口、受付

- ・手指消毒剤を設置する。
- ・受付等にて人と人が対面する場合は、三つの密を避けるよう配慮する。

② 手洗い場所・洗面所（トイレ）

- ・手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する。
- ・「トイレのふたを開けて汚物を流す」、「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
- ・手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。

（参加者にマイタオルの持参を求めてもよい）

③ 更衣室・会議室

- ・選手及び関係者は更衣室や会議室等は使用しないこと

(5) 卓球競技会場，試合進行上の特別処置

① 換気

- ・換気設備を適切に運転し、十分な換気を行うこと
- ・競技場内の利用にあたっては、1時間に1回程度の十分な換気を行うこと

② 卓球台の設置、卓球台の消毒

- ・卓球台は十分な間隔を開けて設置すること（4m以上）
- ・卓球台を固く絞ったぬれ雑巾で拭き上げること
- ・頻回の手洗いによる除菌，感染予防に努めること

③ 選手・コーチ用ベンチ、カウンター等の消毒

- ・次亜塩素酸水、70%アルコール、次亜塩素酸ナトリウム（0.05%希釈）、界面活性剤等で各試合終了後に触れる頻度が多い場所を中心に消毒する。